

## 第4回盛岡市学校給食懇話会 開催結果

### 1 開会

豊岡部長から、昨年12月11日の新聞報道における谷藤盛岡市長の「中学校給食については、全員が同じものを食べられる状況を整備したい」という発言について報告  
→ 質問等なし。

### 2 報告

盛岡市内の児童生徒数について（補足説明）

事務局から資料に沿って説明 → 質問等なし。

### 3 協議

#### (1) これまでの意見の取りまとめについて

事務局から資料に沿って説明

会長	<p>盛岡市学校給食懇話会報告書ということでまとめられているもの でございます。主に第2回に行われました中学校給食についてと、第 3回に行われました小学校給食について説明していただいたわけ ですけれども、委員の皆様から御意見と御質問をいただきたいと思 います。まずは中学校の給食の部分について何かございませんでし ょうか。</p> <p>報告書には中学校給食について、委員の皆様からいただいた主な 意見という形で7つの項目でまとめられています。感想でも構いま せんし、この他にもこういう意見があったのではということがござ いましたらお話していただければと思います。</p> <p>給食の実施方式について中学校ではランチボックス、ミルク給食 というところで、今後どうしていけばいいのだろうかという部分 が大きな話題にはなったわけですけれども、給食の実施方式とい うことで、このような4つの意見でまとめられているようです。</p>
委員	<p>中学校給食についての(4)委託事業者についてですけれども、今 年度は間もなく終わるところですが、来年度以降のところでは業 者が業務をやめたがっているとかはないのでしょうか。来年度も 間もなく始まりますがどうなっているのでしょうか。</p>
事務局 白石主幹	<p>現在、受託業者と協議をしているところですが、今のところ、 続けていただけるということですので、大丈夫かと存じます。正 式な契約等はこれからですが、そのような状況でございます。そ の業者以外には、確実にランチボックスを受けられるという業 者は今のところないという状況でございます。</p>

会長	<p>全ての学校で給食が開始されればこの業者との契約は解除になると思いますが、この業者とは何年まで契約というような話までは踏み込んではいないのでしょうか。</p>
事務局 白石主幹	<p>業者とは基本的に年度ごとで契約をしており、ランチボックス給食がいつまで続きますという約束をしているものではありません。業者も、現在の盛岡市の状況にある程度理解しているとは思いますが、契約については年度ごととなっております。</p>
副会長	<p>現在ミルク給食の3校が選択制給食に至っていないということが1番早急にどうにかしなければならないことかなと考えておりますけれども、来年度以降の方向性でなにか大きな動きがあれば教えていただきたいです。</p>
事務局 白石主幹	<p>現時点で、ミルク給食を何年度に解消しますという形ではお話できる状況ではないというところがございます。ただ我々としましても、いま佐藤委員さんのお話がありましてとおおり、ミルク給食が3校残っている状況はなるべく早急に解消するべきところだと考えております。これについてどういった方法を取るかについては、現在も検討中でございます。</p>
会長	<p>児童生徒数の推移でも、ミルク給食3校の内2校は平成36年には増加している現状はあります。そのような部分も踏まえまして、給食の在り方についてまとめていただけたらなと思います。</p> <p>その他には何かありませんでしょうか。</p> <p>小学校給食について御説明がありましたけれども、小学校給食については5つの項目でまとめられております。これについて御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>共同調理場方式の良さもあり、単独調理場の良さもあるという部分がありましたし、または、ドライ化という部分で、施設の設備の充実という意見もありましたけれどもいかがでしょうか。</p>
委員	<p>小学校給食についての(4)既存の施設の修繕についてですが、このような話し合いがあった時点で、例えば来年度の計画などの中で、なにか修繕の対応を考えていくのでしょうか。それとも例年どおりなのでしょうか。</p>
事務局 白石主幹	<p>修繕ということになりますと、施設の修繕と機器の修繕の2種類があると思います。今のところ、施設の修繕の具体的な計画はございません。機器類に関しましては、ボイラーなどが老朽化している施設については、対応していくということで来年度は進めていこうと思っております。これまでどおり、来年度予算の調整をしているところがございますが、限られた予算の中で効率的に対応していくことが求められている状況でございます。</p>
会長	<p>その他に補足しておきたい部分などはありませんでしょうか。この</p>

	<p>報告書が今後の第二次学校給食施設整備実施計画（以降「第二次計画」）の参考となっていくわけですので、これまで話し合われた内容をまとめていただいたという形です。</p>
副会長	<p>昨年市長から給食の実施に向けて話をされました、その前提で盛岡市内の選択制給食を行っている学校と、ミルク給食の学校を含めて、全体で給食実施の方向になるのであれば、現行の自校式給食やセンター方式も含め、総合的に未実施の学校施設全体で考えるべきではないのかなと個人的には思います。ただし、非常に判断が難しく、例えば現在自校方式の学校の親御さんにとっては、やはり自校式が温かくて美味しいという意見があると思います。それがセンター方式になると、そういったことで、すごく反対される場所も出てくると思います。どういう段階を踏んで、はっきりとした判断基準がないと、児童生徒数の増減などの数値的な部分も含め、総合的に計画を考えていかなければならないのかなと思います。非常に難しいとは思っていますけれども、未実施の学校を実施に移すのは施設が必要だと言うのは大前提ですのでそういったところが難しいと感じております。</p>
事務局 大倉次長	<p>委員さんからありました、基準ということですが、先ほど児童生徒数の推移のところ資料をお示ししておりますように、全体では6年間で4%の減少とありますが、学校ごとに見ていただいた場合に20%から30%あるいは半減する学校もあります。特に、周辺部と言いますか、旧市内であれば松園市内の減少が非常に大きいところがございます。しかし、この児童生徒数の減少をもって、それを基準にするということではなくて、委員さんがおっしゃったとおり、非常に難しいところがあります。資料としてお示ししませんでしたけれども、施設の老朽化のことであるとか、仮にセンター化になるとすれば、設置する場所と学校との距離という問題がありますので、数値的な基準というのはなかなか難しいのかなとは思っていますが、第二次計画の中で可能なものについては明らかにしていきたいと思っております。</p>
会長	<p>様々な基準があるかと思いますが、私たちがここで話し合ってきた中では、例えば給食が食育の生きた教材として使われることがどの児童生徒にとっても、育てたい資質の1つであるということや、あるいは働く人の姿が見えることであると、給食センターの職員が学校に訪問して指導すること、栄養摂取の考えがあったと思います。家庭のお弁当の中には冷凍食品だけのものがあったりという現状も踏まえながら、基準ということに縛られないで私たちの話し合われたことを反映していただけたらと思います。</p>
委員	<p>1つ教えていただきたいことは、最初に市長さんのお話が出ましたが、市長さんの御発言というのは公的なものとして受け取ってよろしいのか、それとも懇話会とは別物として捉えるものなのか、前提を先</p>

	<p>に教えてもらってよろしいでしょうか。それによって質問の仕方が大きく変わってくると思います。</p>
<p>事務局 豊岡部長</p>	<p>市長に対しては、懇話会でこういった意見があったと1回、2回、3回と報告しております。そういったことを踏まえまして、市長としての考えを述べたものと私は理解しております。教育委員会としましては、懇話会でまとめられた意見を踏まえ、次の計画の作成に取り掛かりたいと考えておりますで、市長の意見とは別ものではないというように考えていただければと思います。市長も懇話会のみなさんの意見を踏まえて自分の考えとして表明したと考えていただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>このことを確認させていただいたのは、懇話会の中でも話があったと思いますが、いろいろな施設の問題を考える大前提として、「市として何が何でも給食は実施する。」というような、そもそもの大前提があるのかという意見が出た気がしたためでした。そこは市長の考えとして、やはり現状、みなさんからの意見を踏まえ、給食を実施していくということが示されたと捉えていいのであれば、変わってくるころがあるのかなと思います。というのは、たまたま昨日中学校で理事会があった中で、やはり保護者の見方とすると、新聞報道を受けて小学生の子どもは、自分が中学校に行ったら、ランチボックスではなくて、給食が出るというイメージをはっきり持っていました。仕事でこの場に出ているので懇話会に出ていますという話をする中で、もう保護者の意見として給食になると捉えてらっしゃるところも、現状として捉えておいた方がいい意見なのかなと思いました。そこはデリケートな問題なのかなとは思いました。</p> <p>もう1つ、そういった観点が今まで出てこなかったのですが、第二次計画となってしまうと、いわゆる学校の先生方の負担というものを観点として計画を考えていただいた方が良くはないかと思えます。我々PTAには親や先生がいる中で、具体的にどういった負担が出てくるか想定しづらいのですが、ランチボックスを実施している学校が給食になった際にどのような負担が出てくるのかというと、集金の問題が出てくると思います。今はランチボックスなので申し込みたい人が事前に口座から引き落としがあり、それではじめて成立するという制度ですが、これが給食になると、払わない親御さんが出てくると思います。そういう徴収する御負担を先生が受けるのが現状であると思えます。全員同じ給食にした時に、そういった観点も考えないと、どの時点でこれが実行されるというのもあると思えますが、その観点を盛り込んでないと、働き方改革の話も出ている中で、そういった面も出てくるのではないかなと思います。当然この中には、先生方もいらっしゃるのです、発言しづらいところもあったと思うので発言させて</p>

	いただきました。
委員	懇話会での私たちの意見がどこに、どの組織に、盛岡市議会なのか、教育委員会なのか、作成するのはどこなのか。例えば、教育委員会の課の中で作って終わりというものなのか、これを議会に、もしくは市長にこうですよと報告するものなのかによっても発言の内容が変わってくるかと思います。「ぜひ作ってもらいたい」とか、そういう表現が出てくるのではないかと思います、この部分はどのようになっているのでしょうか。
事務局 白石主幹	確認をさせていただきたいのが、これを作るというお話をされたのは、懇話会の報告書をということでしょうか。
委員	この会議の内容がどこに反映されるのか、活かされるのか。先ほどの市長がこの懇話会を考えた上で、発言したものだということはわかりましたけれども。このまとめたものがどこに発信されて、どう活用されるのか、もしくはどのように第二次計画に反映されるものなのか確認したいです。
事務局 白石主幹	これまでの意見をまとめた会議録は、ホームページに載せておりますし、議員の皆さんにも毎回の資料をその都度お送りし、広く皆様にお知らせをしています。懇話会の報告書を作成した際には、同じように、広く皆様にお示しをして、盛岡市学校給食懇話会の委員の皆さんからこういった意見が出されましたということを、誰でも見られるような形でお示しするような形になります。今後は教育委員会として第二次計画を策定していくということになりますが、懇話会の意見を参考にさせていただきます。ただ、お分かりだと思いますけれども、様々な意見があり、全ての意見を反映させるということは非常に難しいものでございます。いただいた意見の中で、結果的に第二次計画の中に盛り込まれるもの、盛り込まれないものが出てくかと思いますが、そこは最初の方に出ております懇話会の設置目的のところにもあり、ひとつの結論を出すことを目標とはしていないということで、この会は様々な意見をいただきたいと、まずは、市民の皆さんがどういふ風に思っているのかということ、ざっくばらんにお聞きしたいというのがこの会の目的でございます。そういったことで皆さんにお知らせしていきたいというように思います。
副会長	1回目の時に出た、食育に関わるもので、できる限り地元の食材を利用してほしいという意見が出たと思います。ぜひ、地元の食材を使っただけ、生産者の顔が見えるくらいまでは難しいとは思いますが、地域の食材を使うというのが望ましいのかなとは思っています。
事務局 白石主幹	会議録を確認しましたところ、そういった意見がございました。大変申し訳ありませんでした。追加させていただきたいと思います。
会長	中学校、小学校全てを通して何かありませんでしょうか。

	<p>それでは、本日の意見を踏まえまして最終的な報告書としてまとめていただきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、次第の(2) その他ですけれども、委員の皆様からなにかありますか。</p> <p>特にないようでしたので、本日予定されている協議事項は全て終了いたしました。委員の皆様には置かれましては様々な意見を発言いただきましてありがとうございました。また、事務局に置かれましては最終的な報告書のとりまとめと、来年の策定を予定されております第二次計画へ今回の意見の反映について御尽力いただきたいと思います。</p> <p>最後に委員の皆様には進行に御協力いただきまして、大変ありがとうございました。これをもちまして本会における協議事項の一切を終了いたします。</p>
--	---

3 その他 今回の意見とアンケート結果を踏まえた報告書を作成し、委員あて配布する旨を事務局から説明

4 閉会